

## 樽商大VS北大 応援合戦熱く

小樽商大と北大の応援団による応援合戦「第103回対面式」が2日、小樽市のサンモール一番街商店街で開かれ、羽織はかま姿の学生がユーモアあふれる檄文や演舞を披露した。

対面式は1912年（明治45年）の野球の試合が始まりとされ、両大のスポーツ定期戦に合わせて小樽と札幌で交互に続けられている。

市民やOBら約300人



北大応援団との対面式で檄文を読み上げる小樽商大応援団

が詰め掛けた式では、北大の対面式団長の西尾和真さん(20)が「山猿はとつととうせろ。進化して人間になつてから出直せ」と挑戦状を読み上げ、商大を挑発。商大の佐藤七海団長(19)は「今年は白豚らしい体形になつたではないか。いじりやすくつれい。勝利も目前だ」と応戦、会場ではヤジが飛び交い、笑いに包まれた。

両応援団に伝わる演舞が披露されたほか、エールを交換して互いの健闘をたたえた。

(西出真一朗)